

教育センター・育成センター所報

GALLE



新しい数育 伯崎からの発信

インターネット版は 柏崎市教育情報支援シス テムを検索し,トップ画面の 右上「GALILEI」をクリック してください。

平成 21 年 2 月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

2月号 CONTENTS



0	巻 頭 言	「 子どもの世界 」		··· 1
	教育センターたより			
	アクセス	学校教育実践上の努力点について	[教育研究班]	··· 2
		講習会テキストの新規登録 情報モラル関連情	青 報	
		「情報モラル教育柏崎市モデルカリキュラム」		
		「ネット上のいじめ」に関する対応マニュアル・事件	列集(学校・教員向け)	
		セキュリティホール情報	[情報教育]	··· 6
	プロジェクト K	教職員理科研究発表会 研修会・事業の一コマ		
		お知らせ	[科学技術教育班]	8
	心の窓	我が校の教育相談 20年度いろいろ体験グル	ープ最終回を迎えて	
		スクールカウンセラーの相談活動	[教育相談班]	·10
	プラネット	ライブラリー移転のお知らせ 新しい教材(DVD、l		
		今月のおすすめ教材(学校教育等向け) [社	見聴覚ライブラリー]	•12
0	青少年育成センター	-通信 座談研修会の様子 育成座スタンツ公	演の様子	
		第2回ノーテレビ・ノーゲーム運動の取組結果		·13
0	所員随想つれづれ	「 インターネットの光と影 」		
		「携帯電話という名のネット端末」		·16
0	教育センターからの)お知らせ 携帯電話に関わる保護者への対応	視聴覚ライブラリー移転	.17
0	教育センター3月の)予定		·18
0	教育センター利用が	況(今年度 (先月&先月末))		· 19

〇北宋の詩人・文学者・欧陽修の文章を練り考えを深める場は「馬上」「枕上」「厠上」であったという。彼は、所用や時には戦のため遠征するその馬上で思考した。現代なら「車上」というところか。しかし、深く考えると非違行為に繋がりかねない。寝しなや夢の中(枕上)ではアイディアが浮かぶものである。朝まで覚えていたらもっと賢くなっていたと思う人は多いであろう。厠(厠上)でも臭いが気にならなければ思考が閃く。

〇この「(男の)三上」は、考えることだけの場ではなく何かのついでという場ばかりである。しかし、他人に邪魔されることなく熟考することができる場であるようだ。要するに、一人静かに思考に没頭する場や時間を持つことが大切であることを教えている。

〇当センターの 1 月末までの研修参加状況が出た。一人平均2~3回は参加して戴いたことになる。一人で 12 回も参加等してくださった方もいる。実に多くの方々からの参加、貴重な感想・意見等を戴きましたことに感謝し厚くお礼を申し上げます。しかし、「参加ゼロ」者が多いことや学校による差があることは毎年度の課題である。

○教員には研修が義務づけられている。「地公法」の研 修が「勤務能率の発揮、増進」のためであるのに対し、 教員は「職責遂行」のために義務づけられている (教特法)。教員は、常に学び続け、思考力や問 題解決力等、資質指導力を高めることによって教 員として在り続ける。研修しない教員は「職責遂 行あたわず」「教員の資格あたわず」「職を辞すべ し」に等しいことを強く自覚したい。「参加ゼロ」の 背景が、研修に対する意欲や意識の欠如であっ てはならない。

●皆さんの「三上」はどこでしょう。研修会や会議等の「人前」もアイディアが浮かぶ。「歩行中」や「湯中」、趣味等に「没頭中」もあるかもしれない。教務室に戻ればPCに向かうように、現代は、「机上」や「紙上」から「PC前」「電子上」に完全に移ったと言える。さらに、電子端末機器やインターネット端末機器等の「波上」へと進化している。 ○もうすぐ弥生。学校評価・教育計画等の進捗は如何であろうか。情報が多角的に集められ、教職員一人一人の「三上」の成果が機能し合い、新年度の構想が具体的になってきている頃であろう。校長の「三上の時間」を経た決断の時でもあろう。

(mt. jin)

子供の世界

柏崎市立比角小学校 校長 渡辺 仁 平 (教育センター運営委員)



最近ある人の問い合わせがきっかけで、『子供の世界』という本の存在を知ることとなりました。ソフィアセンターや県立図書館にはなく、国立図書館には記録としてマイクロフィルムで保存されているということでした。比角小学校の校長室に、その現物が大切に保管されていました。そこで、遅ればせながらこれを機に、この貴重な本を読んでみました。

子供の世界 - 父母と教師に贈る新教育の生態記録 -

井坂 行男 竹田 操 ^{共著} 昭和23年6月28日 発行

発行所 牧 書店

今から 60 年前に書かれた新教育の実際の姿として比角小学校の教育現実を記録したものです。著者の井坂行男さんは当時の文部事務官、竹田 操さんは比角小学校長です。

教育者には新しい教育の手がかりに、保護者には新しい学校が何をどのようにやっているか分かってもらうために書かれたものです。戦後の新しい教育にかける教師の情熱と子どもたちの生き生きとした学校生活の様子が伝わってきます。

…先生からもらった通知票には、いろいろ激励の言葉を細かに書いてくださった上「やる気になればもっと出来る」と言われたことに僕の心はふるいたちました。(4年男)・・・・・これは、問題児といわれていた子どもが、担任や家族の温かい心に包まれ、じっと見守られ、心のしこりを少しずつ取り除かれていく中で書いたものです。「信頼する教師の細やかな広い愛情は、ちょっとしたことの中でも子供を生かす。教師や父母の任務は、子供の心の奥底に眠っている普遍的な人間性を揺り動かし、目覚ますことである。」この言葉から60年経った今でも、教育に対する当時の熱い思いが伝わってきます。

学級集団の中にあって生活し学習する子どもの姿では、こんな記述も目を引きました。 「みんなで一生懸命にならんば、組はよくならん。」「みんな仲良しにならんばだめなんで す。」「僕らの斑は皆わかるようになろう。」という子どもたちの自治的で主体的な姿。「何 べんやってもだめだいや、みんなで教えてやろうさ。」そばでのぞき込むようにして教えて いる。ノートやえんぴつを用意して書いてみせているのもいる。といった友達と助け合い協 力する子どもたちの姿。

また、中表紙には、新しい教育に向けてこんな言葉が記されていました。

明日はすでに 今日の中に胚胎する。

遠く忘られた子供の世界を 寄り集う児等の瞳に視る。

母よ 教師よ 歴史はあなたの手に 委ねられている。

「温故知新」という言葉が相応しいかどうか分かりませんが、豊かな人間関係づくりが大切だといわれている今日、60 年前に立ち返り、この本に書かれているような豊かな心をもった子どもを育てていかなければと改めて考えさせられました。

教育研究班だより



No.88

平成 21 年 2 月 25 日発行

柏崎市立教育センター

945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610

新学習指導要領が、いよいよ来年度から一部の教科、領域等において先行実施されます。それに伴い、各小中学校においては、新学習指導要領や今年度の学校評価を基にしながら新年度の教育課程の編成や準備を進めていることと思われます。そのような中、去る2月6日に柏崎市教育委員会主催の「平成21年度柏崎市学校教育実践上の努力点」説明会が、柏崎市立教育センターにおいて開催されました。

今月は、その概要を掲載します。

平成21年度 学校教育実践上の努力点

~ 「地域に信頼される特色ある学校づくり」を目指して ~

柏崎市教育委員会

「地域に信頼される特色ある学校」とは、

子どもたちが安心感を抱き、安全な学校生活を送っている 子どもたちが学ぶ意欲をもって、確かな学力を身に付けようとしている 子どもたちが豊かな心をもち、健やかな体をはぐくんでいる

といった姿として現れてきます。

この実現に向けては、

子どもたちや保護者、地域住民による評価を学校づくりに生かす 「柏崎の教育3・3・3運動」を家庭や地域と連携して推進する

などに努め、学校間、保護者、地域、関係機関等とより一層の連携を進めることが大切です。そして、何より も教職員一人一人が教育に対する情熱をもち、自分の資質を高める努力をしていくことが重要です。

教職員一人一人が自ら研さんに努め、人間性豊かで、子どもや保護者、地域にとって魅力的で信頼 される教職員であること

地域に信頼される特色ある学校

○安心・安全 ○学ぶ意欲、確かな学力 ○豊かな心と健やかな体

特 牛 授 各 心 権 別 業 種 徒 支 体 同 の の 和 指 < 教 教 教 遵 U 育

教職員の情熱と努力 学校評価 柏崎の教育3・3・3運動

授業づくり

児童生徒一人一人の確かな学力の向上を図るために、授業改善に取り組む。

実 践 事 項

- ◇ 児童生徒に分かる喜びや学ぶ意義を実感させ、学習意欲の一層の向上を図る。
 - ・単元全体を見通した教材研究(単元構成の工夫、ねらいの明確化、教材の開発や改善、言語活動の充実)
 - ・指導技術の向上(課題設定・発問・学習形態の工夫、学習集団づくり) ・情報教育機器の効果的な利用 ・授業の分析・評価
- ◇ 基礎的・基本的な知識・技能の習得に向けた指導を充実する。
 - ・学習規律や学習習慣(家庭学習を含む)の確立
- ・実態把握と個の見取り
- ・少人数・習熟度別授業やTT授業の実施
- ・体験的な理解や繰り返し学習
- ◇ 思考力、判断力、表現力の育成のため、知識・技能を活用する学習活動を展開する。
 - ・観察・実験、レポートの作成、論述などの学習活動
 - ・言語能力を育成するための記録、要約、説明、論述といった活動
- ◇ 総合的な学習の時間では、自ら学び自ら考える力を育成するため、横断的・探究的な活動を一層充実させる。
 - ・各教科と総合的な学習の関連を図った指導計画の作成
- ・地域素材・人材データベースの整備

・評価規準や評価方法の検討

・中学校区における情報交換

心と体の教育

道徳教育や体育を充実させ、豊かな心と健やかな体を育成する。

実 践 事 項

- ◇ 道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通じて道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を向上させる。
 - ・校長の指導の下、道徳教育推進教師が中心となり全職員で取り組む道徳教育の充実
 - ・内容項目を適切に位置付けた年間指導計画の作成
 - ・各教科等の特質を踏まえた上での教育活動全体で取り組む道徳教育の推進
 - ・資料提示、役割演技、話し合いなどの指導方法を工夫した道徳の時間の充実
- ◇ 豊かな体験活動を通して、他者、社会、自然・環境とのかかわりの中で思いやりの心や規範意識を育成する。
 - ・集団宿泊活動や職場体験活動などによる社会性や規範意識、自然体験や栽培活動などによる生命尊重や感動する心の育成
 - ・道徳性の育成に資する体験活動の重視と道徳の時間との関連強化
 - ・異年齢交流、奉仕体験活動などによる自己肯定感、達成感の体得や思いやりの心の育成
- ◇ 運動しやすい環境を整え、自校の実態に応じた体つくりを計画的・継続的に実施する。
 - ・体力テストの分析による全体計画及び年間指導計画の見直し(小1,2年)
 - ・児童生徒の実態に応じた独自の体育的行事(活動)の企画や学習カードの活用
 - ・運動施設、遊び場、用具等の工夫、整備
- ・課外活動や部活動の充実
- ◇ 主体的に運動に親しみ、健康な生活を送る習慣を形成する。
 - ・教育活動全体において運動の楽しさを味わうことのできる授業や活動の工夫
 - ・健康や安全の大切さに気付かせるための体験活動(簡単な作業や実習等)の工夫
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」「消テレビ・省ゲーム」への取組
 - ・家庭や地域と連携した取組による望ましい生活習慣の定着

生徒指導

積極的な生徒指導を組織的に展開し、児童生徒の自己指導能力を向上させる。

践 事 頂 実

- ◇ 望ましい人間関係を育成するための教育活動を工夫し、計画的かつ継続的に実践する。
 - ・仲間とのかかわりを深める学級活動や縦割り班活動の実施・地域の人とのかかわりを深めるボランティア活動の実施
 - ・仲間とのかかわり方を学ぶSSTやSGEなどの実施
- ・人間関係づくりを苦手とする児童生徒への個別支援の充実
- 個人や集団のあるべき姿を考え、自己の役割を理解し、目標に向けて自己決定する場を意図的に設定する。
 - ・諸問題の解決を自主的に行うための小グループや学級での話し合い活動の充実
 - ・児童生徒の発想やアイディアを生かした児童会、生徒会活動の重視
 - ・自己存在感や集団への所属感をもたせる学級会活動や集会活動の充実
 - ・個や集団の明確な目標を設定して努力する場の設定(運動会、学習発表会、合唱コンクール、マラソン・駅伝大会、部活動等)
- ◇ 自校化した「いじめ防止学習プログラム」や「中1ギャップ解消プログラム」を確実に実践し、いじめや不登校を生まない 集団を育成する。
 - ・生活ノートや個人ファイルなどを利用した児童生徒の理解 ・共感的な人間関係に基づいたきめ細やかな教育相談の充実
 - ・「中1ギャップ解消」に向けた積極的な小中連携の取組(学校行事への参加、交流会、出前授業、合同研修会など)
 - ・児童生徒の内面の変化を見逃さないための職員研修の充実
 - ・組織としての迅速な初期対応と、関係機関との緊密な連携(市立教育センター、元気館、児童相談所、学校訪問相談員、スク ールカウンセラー等)

人権・同和教育

人権・同和教育を着実に実践し、確かな人権感覚をはぐくむとともに、 差別や偏見のない学校・学級づくりを進める。

> 寠 践 事 頂

- ◇ 「差別をしない心、許さない心」をはぐくむため、副読本「生きる I ~ IV」等を積極的に活用し、 児童生徒の心に響く授業を着実に実践する。
 - ・児童生徒の実態に基づく計画的、系統的な授業の展開
 - ・保護者への授業公開、参加型授業、保護者懇談会の実施
- いじめや差別のない集団づくりを目指し、「かかわる同和教育」の視点に立った指導や児童生徒の人権を大切にした 指導に努める。
 - ・悩みや問題を抱える児童生徒との積極的なかかわり(家庭訪問、教育相談など)
 - ・いじめや差別を許さない学校・学級づくり(「隠れたカリキュラム」の展開)
- ◇ 主体的な研修への参加を通して、教職員―人―人が人権・同和問題に関する正しい理解と人権感覚を磨くことに 努める。
 - ・年2回以上の計画的な校内研修の実施(授業研究、外部講師の招聘、現地学習会など)
 - ・各種研修への積極的な参加と校内での確実な伝達(同和教育基本講座、県同教研究集会、部落解放研究集会、いのち・愛・ 人権展、人権・同和教育指導者養成講座など)

特別支援教育

一人一人の教育的ニーズを把握し、全校体制で適切な指導及び必要な支援を行うことにより、児童生徒のもつ可能性を最大限に伸ばす。

実 践 事 項

- ◇ 特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を有効に機能させ、個々の児童生徒の実態に応じた支援ができる 校内外の体制を整える。
 - ・校内委員会の役割や活動内容の明確化、定例化と、保護者への周知
 - ・発達検査・知能検査・チェックリスト等を活用した確実な実態把握
 - ・各種関係機関との連携の強化(通級指導教室、市立教育センター、スクールサポート巡回相談、医療機関等)
 - ・幼保・学校間(小・中・高・特)における連携の強化
- ◇ 個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成し、その活用、評価、改善を的確に行う。
 - ・校内関係者との連携による個別の指導計画の作成
 - ・保護者や関係機関との連携による個別の教育支援計画の作成
 - ・目標や内容、方法を明確にした交流及び共同学習の実施
- ◇ 研修を通して全教職員が特別支援教育についての理解を深め、専門性及び指導力の向上を図る。
 - ・特別支援教育の視点に立った児童生徒理解と支援方策の検討
 - ・事例検討会等の校内研修の計画的な実施
 - ・校外の研修会への積極的な参加と研修内容の共有

各種の教育活動

教 育 活 動	努力 点及び実践事項
キャリア教育	キャリア教育を教育計画に明確に位置付け、望ましい職業観・勤労観を育成する。
	キャリア教育の視点(4領域・8能力の育成)による授業、係活動、学級活動、委
	員会活動等を充実させる。
	職場見学、職場体験活動、職業講話等、働く人々と接する機会を意図的・計画的に
	設ける。
情報教育	様々な情報を取り扱う授業や活動を通して、児童生徒の情報活用能力を育成する。
	情報モラルを高めるために、年間指導計画を作成し、家庭と連携を図りながら具体
	的指導を行う。
	情報教育機器を積極的に利用した学習活動を展開する。
環境教育	環境問題に対する意識を高め、望ましい環境について考える意欲や態度を育成する。
	身近なところから取り組めるよう創意工夫した実践活動を行う。
	各種施設を積極的に活用し、エネルギー問題や環境問題に関する学習の充実を図る。
食 育	児童生徒の食への関心を高め、年間指導計画をもとに家庭や地域と連携を図りながら望まし
	い食習慣を形成する。
	学校栄養職員・養護教諭の授業参加や給食の時間の活用により、食に関する指導の
	充実を図る。
	体験学習等を通して、日本や郷土(柏崎)の食文化に対する理解を深め、食文化を
	継承していこうとする意欲を育てる。
安全教育	児童生徒に、自他の危険予測・危険回避の能力を育成する。
	施設、設備の安全管理に努めるとともに、安全確保のための体制や仕組みを十分に
	活用して、児童生徒の安全確保に努める。
	様々な状況を設定した各種訓練や安全教室等を実施し、緊急時の対応の仕方や事故
	を防ぐ方法についての理解を促し、実践する力を育てる。

■■ 教育情報支援システム情報 ■■■

■ 講習会テキストの新規登録

実施	日	講座名	教材名(リンク)	サムネイル/備考
H21.2	.16	デジタルアルバム 作成入門	デジタルアルバム作成入門.pdf	テキスト第 2 版(H21.1.12)

■ 情報モラル関連情報

◆「学校における携帯電話の取扱い等について」(通知)

文部科学省は1月30日付で、小中学校においては学校への児童・生徒の携帯電話の持込みについては原則禁止すべきとする指針を都道府県教育委員会に通知しました。市町村教育委員会に対しても、各学校における携帯電話の取扱いが適切になされるよう、基本的指導方針を定めて学校に対して示すなどして、所管の学校に対する指導を徹底することを促しています。この通知の小学校及び中学校に関する指針は次の通りです。

- 1 携帯電話は、学校における教育活動に直接必要のない物であることから、小・中学校においては、学校への児童生徒の携帯電話の持込みについては、原則禁止とすべきであること。
- 2 携帯電話を緊急の連絡手段とせざるを得ない場合その他やむを得ない事情も想定されることから、 そのような場合には、保護者から学校長に対し、児童生徒による携帯電話の学校への持込みの許可を申請させるなど、例外的に持込みを認めることも考えられること。このような場合には、校内での使用を禁止したり、登校後に学校で一時的に預かり下校時に返却したりするなど、学校での教育活動に支障がないよう配慮すること。

さらに、「学校における情報モラル教育の取組について」として情報モラル教育の充実に取り組むことや、「『ネット上のいじめ』等に関する取組の徹底について」として、「ネット上のいじめ」を含むいじめ等に対する取組の更なる徹底を進めていくこと、「家庭や地域に対する働きかけについて」として保護者を始めとする関係者に対し、効果的な説明の機会を捉えて携帯電話等を通じた有害情報の危険性や対応策についての啓発活動を積極的に行い、家庭における携帯電話利用に関するルールづくりやフィルタリングの利用促進に努めることなどが示されています。

通知全文はこちら → http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/1234695.htm

◆「情報モラル教育柏崎市モデルカリキュラム」

柏崎市教育委員会が平成 19 年度にまとめた「柏崎市における『教育の情報化』推進プラン」では、児童生徒の情報モラルの育成を大きな柱の一つととらえ、5 カ年の推進計画の中に具体的な目標を定義しています。その中で、平成 20 年度の達成目標として「情報モラルについての年間指導計画の作成」が掲げられており、今年度は柏崎市としてのモデルカリキュラムを用意し、各学校における実践に役立ててもらうべく準備を進めてきました。現在、そのまとめ段階にありますので、準備が整い次第、柏崎教育情報支援システムやコンテンツサーバーを通じて公開させていただきます。



◆「ネット上のいじめ」に関する対応マニュアル・事例集(学校・教員向け)

「ネット上のいじめ」などへの効果的な対応策の検討のため開催された 「子どもを守り育てる体制づくりのための有識者会議」の提言を受け、文部 科学省が作成したものです。次の様な内容で構成されています。

「第1編 マニュアル編」

「ネット上のいじめ」とは 「ネット上のいじめ」等の事例と対応 「ネット上のいじめ」等に対する対応の充実

「第2編 事例編」

掲示板・ブログ・プロフでの「ネット上のいじめ」 メールでの「ネット上のいじめ」 その他(ロコミサイト、オンラインゲームのチャット)



全文はこちら → http://www.mext.go.jp/b menu/houdou/20/11/08111701/001.pdf

■■■ セキュリティ情報 ■■■

■ セキュリティホール情報

マイクロソフトより、2月11日付で2月の定期更新として、Windows などの重要な更新が下記のように公開されました。まだUpdate が済んでいないようでしたら、至急Windows Update などを実施していただくようお願いします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能をONにする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにしてください。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS09-002 Internet Explorer の重要な更新	Internet Explorer 用の累積 的なセキュリティ更新プログ ラム (961260)	IE7	Win	緊急
2	MS09-005 Visio の重要な更新	Microsoft Office Visio の脆弱性により、リモートでコードが実行される(957634)	Office Visio 2002,2003, 2007	Office	重要
3	MS09-003 Exchange Server の重要な更新	Microsoft Exchange の脆弱 性により、リモートでコードが 実行される(959239)	Exchange 2000 Server Exchange Server 2003, 2007	Win	緊急
4	MS09-004 SQL Server の重要 な更新	Microsoft SQL Server の脆弱性により、特権が昇格される(959420)	SQL Server 2000,2005 MSDE 2000 など	Win	重要

Win は Windows Update または Microsoft Update, **Office** は Office Update から更新を実行します。 なお, Office が 2002(XP)以降なら Microsoft Update を利用すると, まとめて実行することができます。

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。



研修会・事業の一コマ

研修会の様子&参加者の声など・・

第 21 回教職員理科研究発表会(柏崎市刈羽郡学校教育研究会 科学教育研究部と共催) (1月14日実施)

内 容

第1部 小・中学校の先生方による理科の研究・実践発表 小学校の部

	氏 名	学校	発 表 題 目
4	鈴木孝幸 先生	日吉小	野外観察を支える学習をどう展開すればよいか
'	較小学学 元王 		柏崎のすぐれた教育資源を有効に活用するための手段を考える
2	小林多佳子 先生	刈羽小	追究を楽しみ、好奇心を広げる '一人・グループ追究'の取組
3	藤本順也 先生	南鯖石小	流れる水のはたらき
4	宮路嘉一 先生	新道小	子どもが見通しをもって学習する理科の授業を目指して
	口叫加 儿工	》 是 7、	~4QS(フォークス)ワークシートの活用を通して~

中学校の部

	氏 名	学校	発表 題 目
1	金井勇輝 先生	西山中	「液体窒素」を使った状態変化
2	大崎 貢 先生	翔洋中等	実験技能の定着を目指した指導の実践 ~パフォーマンステストを通して~
3	近藤悠司 先生	第五中	かかわりを通して互いに高め合える授業作り
4	金井秀樹 先生	南中	言語活動を取り入れた理科指導の実践

第2部 講演 「新教育課程実施に向けて」

講師 学校教育課 主幹 指導兼管理主事 近藤 喜祐

先生方の先進的な実践発表に対して,各発表ごとに指導者の先生方から御指導をいただき,発表者・参会者ともに,指導法や教材のあり方について大変深く学ぶ良い機会となりました。

また第2部の講演会においては,新教育課程の実施に向けて,改訂の基本方針から移行措置のポイント,各学校において求められることなどについて講師の先生より分かりやすく教えていただきました。





冬の星空観察会

(1月30日実施)

講 師 柏崎天文同好会会長 松村 昌明 様

会 場 柏崎市立博物館

内 容 プラネタリウム鑑賞と冬の星空についての講義,またルーリン彗星の見ど ころなどについて講師の先生から詳しく教えていただきました。

ルーリン彗星について

台湾のルーリン天文台(鹿林天文台)にて,2007年に発見されました。次に地球に接近するのは数千~数万年後とも,人類最後の観測のチャンスかもしれないとも言われています。観測の目印はしし座です。2月の20日~3月1日にかけて,獅子の後ろ足から前足(レグルスの近く)を通り抜けるように移動していきます。この時期,雲が晴れた午後7時以降に,双眼鏡などで東の空を見上げてみてはいかがでしょうか。

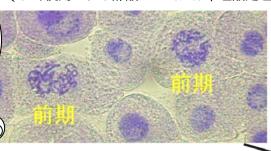
中学校分野別研修会 第2分野「生物の細胞とふえ方」 (2月4日実施) 内 容 分裂細胞が見つからないという生徒をゼロにするために,また,50分の 授業の中で分裂細胞を固定,解離,染色,観察,(レポート作成)まで行うための工夫 などを含む,実験方法や展開についての研修を行いました。

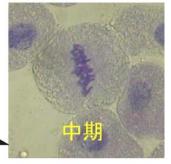
(一部紹介) 酢酸ダーリア塩酸で固定・解離・染色を一度に行った場合

染色力が強く短時間で処理ができる。

青紫色に染まった像はコントラストが強く観察しやすい。 塩酸処理と同時に行っても全く染まり方に影響しない (よく使用される酢酸カーミンは,塩酸処理によって染まりにくくなる)

実際に授業でですで、に使えそうな内ででででででででかったしたいかかカーとよりを対したいが確しまりを表がました。参加したいです。

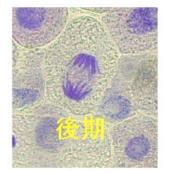


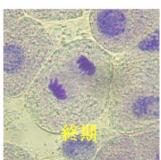


Topic:分裂細胞の準備は ネギの種子が便利!



- ・2~3日で観察可
- ・終日、分裂細胞が見える
- ・染色体が大きく見やすい





お知らせ(行事等)

植物スケッチ・写真展 (柏崎植物研究グループと共催)

日 時 3月8日(日)~4月5日(日)

会 場 柏崎市立博物館

内 容 植物のスケッチや生態写真を展示し,植物についての理解を深めます。



1 1 4

柏崎市立教育センター 〒945 0833 柏崎市若葉町2番31号

(代表) 23-4591

(Fax) 23-4610



教 育 校の 相 談

柏崎市立枇杷島小学校

当校は全校327名の中規模校です。校区は柏崎駅の南側に位置し、商業が盛んな地域と住宅地 とに大きく二分されます。保護者、地域の学校教育に対する関心は高くボランティア活動も盛んで す。当校では「るるる枇杷島」(認める、高める、考える枇杷島)を教育の中核におき、日々の教育 にあたっています。落ち着いた学習環境の中にいる子供たちですが、友達関係がうまくつくれなか ったり、複雑な家庭環境の中で生活していたりする児童もいます。それらの児童への対応を中心に、 全児童が心の居場所を保ちながら学校生活が送れるよう次のような取組を行っています。

(1) 児童の人間関係、悩みを把握し支援するための取組

当校では、昨年度から、年2回Q - U調査を全学級で実施しています。また、月1回の生活アン ケートや隔月でのマイノートの活用を通して児童の実態把握を行っています。Q - U調査では学級 における児童の人間関係を把握し、個人への働きかけや学級全体での取組の方法を考えます。生活 アンケートやマイノートでは児童の悩みや問題を把握し支援します。マイノートについては教師が 定期的に書く場を設定するとともに、児童が教師に伝えたいことがある場合は自由に記述し教師に 提出し悩みをともに考える機会としています。

(2) 年2回の児童との教育相談の場の設定

Q - U調査、マイノート記入後、児童と担任との教育相談を設定しています。一人10分程度で すが、児童と教師がじっくりと向き合える時間を持つようにしています。そして、問題解決の方策 を話し合うとともに、児童と教師のよりよい関係作りにも取り組んでいます。また、この取組の後 には保護者と個別懇談を設定し、保護者との連携を図るようにしています。

(3) 児童理解の会の設定

年3回全職員での児童理解の会を設定しています。第1回目は各学級で配慮の必要な児童につい てよりよい対応ができるよう、児童の実態と改善に向けての実際の指導について話し合います。そ の後の会では児童の変容と指導の見直しについて話し合いを進めるようにしています。また、状況 に応じて職員朝会等で情報交換を行い早期対応を心掛けています。(文責滝沢郁子)

<教育相談班 3月の予定 >

* ふれあいルーム

13日(金)保護者会

23日(月)通級終了日







🧭 🚫 <平成 20 年度いろいろ体験グループ最終回を迎えて>



「いろいろ体験グループ」とは、当センターで実施している発達障害特性やその疑いのある子ど もを対象とした SST (ソーシャルスキル・トレーニング) のことです。ソーシャルスキルとは、対 人関係を円滑に築くための知識とそれに裏打ちされた具体的な技術やコツを総称したものであり、 SSTとは、その知識と具体的な技術やコツの習得練習を意味します。

8月までの前期と同様に、10月からスタートした「後期いろいろ体験グループ」も5グループ に分かれています(小学生:低学年男子・高学年男子・女子の3グループ,中学生:男子女子混合 2グループ)。この全てのグループが、今月で20年度の最終回を迎えます。既に最終回を終えた 子どもたちからは、同じメンバーで集まることはその日が最後であることを意識し、「悲しい」気 持ちや「仲良くできてよかった」気持ちなどが多く聞かれました。その他、「思い出として、メン バー全員で同じ物を持ちたい」と話してくれた子どももいました。月に一回の集まりではあります が、メンバー間で仲間意識が育てられていたことを実感し、担当者として大変うれしく思っていま す。同じグループではあっても、参加目的や課題は、それぞれ異なります。通っている学校も異な ります。このように初対面の人と同じ時間を共有し、自分が苦手としていることの改善に取り組み、 メンバーとの絆を見せてくれた、子どもたちのチャレンジ精神と努力を褒め、そして感謝したいと 思います。

最後になりますが、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。 ご協力ありがとうございました。



「スクールカウンセラーの相談活動」



今年度,第三中学校を拠点校,高柳中学校を対象校として勤務しています。気がつくと1年が経とう としています。毎年のことですが,今年も慌しく過ぎてしまったなぁと感じています。他にも何校か勤 務させていただいていますが、それぞれの学校の様子で私の動き方が違っていたように思います。

第三中学校ではしばらくの間,個別の相談がなかったので,"心の教室だより"を発行するなど,地 味に?宣伝活動をしてきました。少しずつ顔を出してくれる生徒が増えて,最近では,昼休みの心の教 室は何人かの子どもたちと一緒にホカホカ過ごす空間になっています。先日,初めて来談した生徒から お便りについてコメントがあり,嬉しく思いました。生徒や保護者の個別相談は授業時間や放課後に行 っています。高柳中学校では," きらきらタイム " という話し合い活動に参加したり,授業にお邪魔し たりして,生徒と関わっています。月に1回の勤務ですが,人数が少なく,アットホームな雰囲気の中 で,ゆっくりと同じ時間を過ごせているように感じています。

どちらの学校も生徒理解に積極的な先生方が多く、授業の合間や放課後などに、普段の子どもたちの 様子について教えていただいています。ある状況について話し合っていると,生徒,保護者,先生,力 ウンセラーは , 少しずつ異なった視点からその状況をみているんだなぁと気づくことがあります。それ ぞれの考え方,感じ方を大切にして,繋いでいけるような立場でありたいと思っています。

今年度は残りわずかの勤務になりますが,生徒と一緒に過ごす時間を大切にしながら,また,先生方 や関係機関の方々と連携して、相談活動を続けていきたいと思っています。

(スクールカウンセラー 野口理英子)

柏崎市立教育センター

視聴覚ライブラリー通信

H21.2.25 第10号



URL http://kedu.kenet.ed.jp/ から教材検索できます(ゲストをクリックして「視聴覚教材 DB」を選択) E-mail kasikari@coral.ocn.ne.jp 945-0833 柏崎市若葉町 2-31 TEL・FAX 0257-23-1168

○○ 視聴覚ライブラリーからの大事なお知らせ ○○

4月からライブラリーは図書館へ移転します

4月から視聴覚ライブラリーの業務が、教育センターから市立図書館(ソフィアセンター)へ移ることになりました。それにともない、教材・機器の移動など準備のために3月下旬より貸出しなどの一部の業務を休止させていただきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

なお、後日、学校・幼稚園・保育園やコミセンなどの団体向けに、移転に関するお知らせを別途送付しますので詳細につきましてはそちらをご覧ください。

また、3月下旬に教材・機器の貸出しを希望される方は、事前にライブラリーまでお問い合わせ下さいますようお願いします。 (お問い合わせ 視聴覚ライブラリー TEL 23-1168)



社会教育向け 新しい教材(DVD・ビデオ)が入荷します

アニメーション

タイトル	メディア
こどもにんぎょう劇場(6巻セット)	DVD
ねこざかな	DVD
たまごにいちゃん	DVD
日本のおばけ話 のっぺらぼう	D/V
サンタさんは大いそがし	VHS

その他の教材

	タイトル	メディア
安全	今、高齢者が狙われている!	DVD
防犯教育	うさぎと亀の交通安全	DVD
健康教育	 防ごう!メタボリック・シンドローム	DVD
人権教育	差別っていったい何やねん	VHS

*入荷は3月中旬の予定ですが、貸出しは4月からになります。

〇〇 今月のおすすめ教材 〇〇

学校教育

社会教育(アニメ)

管理No.	タイトル	分	管理No.	タイトル	分
V02-029	「季節と生きもの」(冬のようす)	17	V40-033	カワウソ親子の冒険	19
V02-031	「星座の観察」(秋と冬の星座)	12	V40-040	わらぐつの中の神様	24
V05-038	地球を救うのは君たち	20	D40-002	アニメ ハチ公物語	18
V09-110	小学生のための性教育 [8	D40-003	日本の名作童話①うらしま太郎他	60
V09-111	小学生のための性教育Ⅱ	20	D40-004	日本の名作童話②かさじぞう 他	60
V09-112	小学生のための性教育Ⅲ	8	040-085	さんびきのこぶた(ディズニー)	9
V09-121	病気にならない体をつくる	14	040-138	新、泣いた赤おに	20

育成センター通信

0814

柏崎市青少年育成センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

3月の予定

日	曜	ことがら	日	曜	ことがら
4	水	青少年育成センター運営委員会	16	月	夜間育成活動
5	木	夜間育成活動			
10	火	昼間育成活動			

座談研修、盛会裡に終わる!

~柏崎警察署生活安全課長さんによる講演会~

去る1月24日(土)に今年度の座談研修がありました。この座談研修は、青少年育成委員の見識を深めたり資質向上を図ったりするものです。

今回は、柏崎警察署生活安全課長の内山嗣久さんを講師に招き、「青少年に関する非行問題」についてご講演をいただきました。柏崎警察管内の青少年に関する非行の現況や傾向を具体的な事例をあげて分かりやすく説明していただきました。委員からは「管内の青少年の非行の現況がよく分かった」「事例を踏まえて説明していただいたので、分かりやすかった」などの声がありました。

その後、講演についての質疑応答が行われました。あらかじめ寄せてもらった質問事項に ついて分かりやすくお答えいただきました。青少年の非行について委員同士の意見交換が活 発に行われました。折からの荒天にもかかわらず予定していた時間を大きく超えての意見交 換でした。涌井昭夫センター所長は、「青少年育成は声かけが基本だ。積極的な声かけで青少年の非行の抑止を図りたい」と話していました。

この会には、青少年育成委員の他に市内のPTAの方々も多数ご参加いただきました。



講演をする内山生活安全課長さん



熱心に聞き入る青少年育成委員

育成座スタンツ公演! 枇杷島小で「不審者の対応の仕方」

去る1月21日(水)に育成座のスタンツ 公演が行われました。今回は、枇杷島小学校 の1年生を対象に寸劇を通して「不審者対応 の仕方」について理解を深めていただくこと ができました。特に「いかのおすし」の合い 言葉についてのねらいや意味を分かりやす く説明しました。また、「こども110番の 家」についても理解を深めていただきました。 ふだん地区で見守ってくれる蛍光色のベス



トを着ている人だけでなく、挨拶をしてくれる地区の方々にもきちんと挨拶をしようということも取り上げました。

この日は、授業参観日のため保護者の方々からも寸劇を見てもらいました。親の立場からも「不審者対応の仕方」について理解を深めていただき、家庭での話題にして子どもにかかわる事件・事故防止を呼び掛けました。

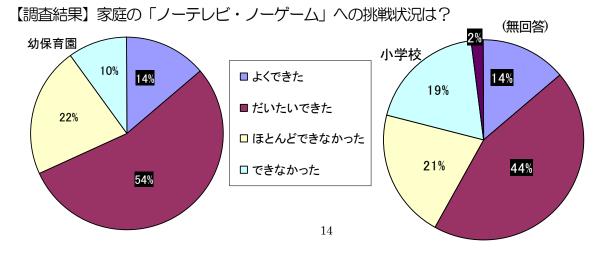
今年度の育成座のスタンツ公演は、中通小学校・上米山小学校・北条北小学校そして今回の枇杷島小学校の4校で行われました。地域安全パトロール隊の発足式・避難訓練・授業参観などと合わせた公演要請がほとんどでした。ご利用ありがとうございました。

第2回ノーテレビ・ノーゲーム運動

【調査期間】平成20年11月1日~11月14日の14日間

【調査対象】柏崎市・刈羽村の幼保育全園児 3,091名

柏崎市・刈羽村の小学生全児童 5.067名



インターネットの光と影

教育研究班

嘱託指導主事 中山 博迪



私が自宅のパソコンでインターネットをするようになったのは、今から12年ほど前である。 当時は、「パソコン通信時代」からようやく「インターネット時代」へと移りかけた頃でもあった。最初は電話の「アナログ回線」を利用していたが、やがて「ISDN」へと変わり、今は高速回線の「光ファイバー」を利用している。時間を気にせず、またスピードも以前より格段と速くなり大変重宝している。毎日が「インターネットというメディア空間」の中で生活しているといっても過言ではない。

インターネットは、電話や郵便といった通信手段に比べてそのコストも格段に安く、海外との通信も言葉の障害を除けば極めて容易となった。(昨年12月からカナダへ行っていた娘とのコミュニケーションは、電話よりもメールの場合が多かった。)また従来は資本力のある企業等だけがマスメディアを利用して一般大衆に情報を発信することができたが、インターネットではだれもが気軽にホームページを開設し、不特定多数の人々に情報を発信することができるので、資本力の乏しい中小企業や個人経営の皆さんにとっては願ってもない、大変ありがたいツールでもある。(インターネットで売り上げを大幅に伸ばし、急成長した企業や個人経営者は数多くある。) さらに「開かれた学校づくり」や「学校の説明責任」を果たすための重宝なツールとしても利

さらに「開かれた学校づくり」や「学校の説明責任」を果たすための重宝なツールとしても利用され、ほとんどの小・中学校がホームページを開設し、「子どもたちの生き生きとした活動」や「特色ある教育活動」などをWeb上で発信している。

このようにインターネットが普及することにより、あらゆる情報が瞬時に世界の隅々まで、色々な人のもとへ届くようになった。しかも一方通行ではなくて、双方向のコミュニケーションが可能となった。私も花や風景など、自分で撮影した写真などを公開しているプライベイトなホームページ『ふぉとめもりー』を立ち上げて8年目になるが、全国の見知らぬ方からコメントをいただいたり、「写真を利用させてほしい」(「トキめき冬季国体の公式ホームページ」など)といったメールをいただいたりしている。またいつの間にか外国のサイトにも紹介されるまでになった。インターネットは、柏崎はもとより日本全国さらに国境や人々の立場・境遇の違いなども見事に取り払い、グローバルな、しかもフラットな社会空間を形作ってしまったのである。(私は、これも"規制緩和"の一つだととらえている。)

しかし、このように元々は大変便利な「善意のツール」だったはずのインターネットが、最近は、「ケータイ」などをとおして発生する犯罪や事件などで「悪意のツール」としてにわかに脚光を浴びてきた。チェックシステムを通らない情報を、各人が思うままに、匿名で容易に発信できるインターネットは、悪意ある大人の欲望のはけ口でもあり、あらゆる誘惑がそこにはある。我々大人でさえも目を背けたくなるようなサイトが、無防備にしかも堂々と公開・閲覧されているのである。

インターネットは、社会の進歩に大いに貢献し、現代社会の利便性をはるかに向上させ、今や 日常生活には欠かせないツールとなっている。しかしその代償ともいえる「影」の部分にも、し っかりと目を向け、学校や家庭・地域社会そして国(行政機関)が、利便性の裏に潜む「リスク」 に真剣に向き合っていかないと、これからの子どもたちの将来が危ない。



携帯電話という名のネット端末

教育研究班

情報教育主事 田村 実



1/17 に市民プラザで行われた講演会「携帯電話のメディア特性と子育て教育 ~学校と親の役割~」を聞かせていただきました。講演の内容は、携帯電話を中心とした子どもたちとメディアについての関係に警鐘を鳴らし、具体的な危険性や問題点を示し、親の管理と指導の重要性を訴えるものでした。

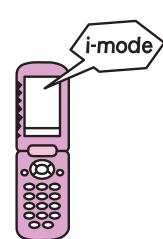
私は首都圏への出張が時々あるのですが、駅、電車の中、移動中の路上、食事のために入ったお店など、ほとんどの場所で大人が携帯電話を夢中になって操作しているのを見かけます。新幹線の中やファストフード店などではパソコンを使って仕事をしている(遊んでいる?)人もちらほら見かけますが、携帯電話の比ではありません。みなさん携帯電話で何をしているの? 通話でないことは確か。どうやら、ネットに接続してニュースやら趣味やらの情報を閲覧しているようです。ずーーっとです。ちょっと調べて閉じるという人は少数派。新し物好きを自称する私から見ても異常な光景に感じられます。

こんなふうに(老若男女問わずに)大人が夢中になっている物。もはや電話ではない代物。それが携帯電話の正体です。「極めてプライベート」なネット端末として利用されていると言えるでしょう。何がプライベートなのかって? ①どこにでも持って行けて、その気になればどこででも使える事。トイレで使えば誰にも気づかれません。②いろいろロックがかけられるので履歴やデータは親兄弟でも見ることができません(見たらただでは済まないよ!とのプレッシャー付き)。③ネットにさえつながればあらゆる情報にアクセスできます。④ネットにさえつながれば知らない人といくらでもコンタクトがとれます(しかもこっそりと)。

どうですか? 周囲の多くが夢中になり、秘密が保て、何でも見れて、友達(?)だってたくさんできる。子どもが欲しがるはずでしょう? しかもうまくいけばお金はみーんな親が払ってくれる。

子どもの安全のためなら電話機能だけでいいと思いませんか(居場所確認も有効ですね)。連絡手段としてならショートメッセージ(ネット接続契約をしなくても利用できるメール)でいいと思いませんか。i-modeなどのネ

ット機能を子どもに使わせているのは日本だけのようですよ。



ちなみに我が家では高校生になるまでは携帯電話はダメ、持たせたら基本料金以外は子どもの負担です。パケット代だって使った分だけお年玉からしっかりいただきます。通信は高いのだ。思い知るべし。パケット代のためには、他に欲しい物があっても我慢しなさい。です。

ところで、子どもの携帯電話利用に注目が集まる中、最近は別の手段も急浮上中。PSPやDSi、iPod、デジカメよお前もか・・・無線LAN機能を持つ携帯機器のオンパレードです。子どもがこれらの機器を持って外に出かけたら要注意。無線LANを使っているのに、暗号化すらしていない家庭の電波を探して徘徊しているかもしれませんよ。

携帯電話にかかわる保護者への対応

子どもたちのインターネットや携帯電話のメールを利用する機会やそれに伴って巻き込まれるトラブルや事件等が近年急激に増加してきており、大きな社会問題ともなっています。

このような実情に対応するため、柏崎市教育委員会は,次のような対応をしています。

子どもの学校への携帯電話持ち込みについては原則禁止。

学校における情報モラル教育の教育課程への具体的位置付けと効果的な指導の実施。 保護者に対する携帯電話の危険性の認識と健全な使用、親の責任についての啓発。

具体的な取組としまして、まず、「小中学校における携帯電話の取扱いに関する柏崎市の指針」を 市内小中学校に通知しました(2月17日付)。指針(通知)の内容は下記の通りです。

「小中学校における携帯電話の取扱い」に関する柏崎市の指針

「子どもに携帯電話を所持させる保護者は、その親権を十分に発揮して、責任を果たす義務がある。」 ということを前提とし、次の3点を柏崎市の指針とする。

- 1 小中学校においては、学校への児童生徒の携帯電話の持ち込みについて、原則禁止とする
- 2 特にやむを得ない事情から、携帯電話の学校への持ち込みが必要と判断される場合には、保護者の申 し出のもとでの校長判断とする
- 3 学校への持ち込みを認める場合には、校内での所持、使用を禁止し、登校後に学校で一時的に預かり、 下校時に返すなど、学校の教育活動に支障がないように配慮する

また、上記 を実施するための資料として「**情報モラル教育柏崎市モデルカリキュラム**」の配布とともに(3月中旬)「柏崎教育情報支援システム」やコンテンツサーバーでの公開も予定しています。各学校では、来年度の取組に活用する等有効にお役立てください。

*「情報モラル教育柏崎市モデルカリキュラム」については、「GALILEI」本号6ページ参照

視聴覚ライブラリーの移転

市立図書館へ

視聴覚ライブラリーの業務が、教育センターから市立図書館(ソフィアセンター)へ移ることになりました。移転により、教材(フィルムや DVD、ビデオ等)や機器等の一元化と貸出業務の一体化を図り、土・日曜日等の貸出業務も可能にすることもできます。これまで以上の利便性向上を図りたいと思っています。移転作業に伴い、貸出し等の一部業務を休止させていただきます(3月下旬より)ので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

なお、学校・幼稚園・保育園やコミセンなどの団体には、移転に関するお知らせを後日、別途送付しますので詳細につきましてはそちらをご覧ください。

また、3月下旬に教材・機器の貸出しを希望される方は、事前にライブラリーまでお問い合わせ下さいますようお願いします。 (お問い合わせ 視聴覚ライブラリー TEL 23-1168)

日	曜日	研修・センター行事・会議	出張・その他関係事業					
1	日							
2	月	所内会議 13:00~						
3	火							
4	水							
5	木							
6	金		(中学校卒業式) 出・県センター出張(植木) *退職校長会(第一研修室)PM					
7	土		スケッチ・写真展前日準備(植木)					
8	日		第16回植物スケッチ・写真展(~4/5)					
9	月		本会議一般質問					
10	火		本会議一般質問					
11	水		* 学校教育課(多目・一研)終日					
12	木	所内会議 14:00∼	ガリレイ〆切 いなほの会学習会(小林)19:00~					
13	金	ふ・ふれあいルーム保護者会 18:30~	出・上越地区セン総会4(植木) (議会 文経委員会)					
14	土							
15	日							
16	月							
17	火							
18	水							
19	木		心のケアセンター(小林)10:00〜 要保護児童協議会(元気館:小林)14:00 出・長期派遣研修員報告会(県セン:植木) ガリレイ発行予定 (議会 文経委員会)					
20	金	(春分の日)						
21	土							
22	日							
23	月	ふ・ふれあいルーム通級終了日						
24	火		(小学校卒業式)					
25	水							
26	木							
27	金		教育委員会(所長)15:00~					
28	土							
29	日							
30	月							
31	31 火 所内打合せ (教職員退職辞令交付)							
	研・教育研究班 科・科学技術教育班 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム ラ・視聴覚ライブラリー 情・情報教育研修 出・出張 *・ヤンター施設貸出							

ラ・視聴覚ライブラリー 情・情報教育研修 出・出張 *・センター施設貸出

教育センター事業の参加・利用状況(先月末)

# 10		研修講座・事業名	12月の 利用数	1月の 利用数	先月までの 利用合計数	19年度の 利用合計数	
大性研修、研修講座 1回 0回 8回 8回 8回 70人 503人 70回 0回 0回 0回 1回 70回		専門研修講座 *					400
学校の要請研修会						1,365人	
Yeby の要請研修会		 共催研修、研修講座					
対策		THE STIPS CONTINUES					
計画 1回 1回 1回 3回 3回 30回 41回 3人 52人 46人 46人 30回 41回 30回 30		 学校の要請研修会			+		10
	教						
	育	調査研究員会,教科研修員会					
扱う 教育情報化研修講座 * 20人 40人 394人 277人 情報教育主事の要請支援等	如实						
情報教育主事の要請支援等	班	教育情報化研修講座 *					
情報教育主事の要請支援等							
その他の相談・利用・参加数 〇回 2回 44년 教科書センター利用閲覧数 2人 3人 322人 252人 理科研修講座 * 1回 3回 27回 16回 5人 66人 341人 133人 学校等の要請研修 0回 1回 17回 21回 66人 341人 133人 494人 791人 0人 35人 494人 791人 0人 35人 494人 791人 0人 35人 494人 791人 9日 1回 11回 11回 8回 36人 49人 79人 79人 44人 791人 9日 1回 11回 13日 21日 21回 22日		情報教育主事の要請支援等		-			
その他の相談・利用・参加数							
教科書センター利用閲覧数 2人 3人 322人 252人 理科研修講座 * 1回 3回 27回 16回 3回 27回 16回 3回 27回 16回 3回 27回 16回 30 27回 16回 30 27回 16回 30 27回 16回 30 27回 30 35人 494人 133人 494人 791人 791人 79人 79人 79人 74人 0人 7411人 4,600人 7441 7447件 263件 28件 13件 447件 263件 28件 13件 447件 263件 28件 28件 13件 447件 263件 28件 28件 31件 53件 237件 115件 79人 79人 884人 462人 79人 79人 884人 462人 27件 79人 79人 884人 462人 70个セリングルーム来室相談 5時間対象者数 2回 3回 35回 49回 9回 9回 9回 35回 49回 35回 49回 35回 49回 35回 49回 35回 49回 35回 49回 42回 36目 40回 42回 42□		その他の相談・利用・参加数					
理科研修講座 * 1回 3回 27回 16回 5人 66人 341人 133人 133人 9		 数科書センター利用閲覧数					
技術の形の神座 * 5人 66人 341人 133人 133人 21回 17回					+	-	
対策 学校等の要請研修 0回 1回 17回 21回 技術 0人 35人 494人 791人 地域の自然研修・観察会 0人 55人 454人 367人 科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等) 74人 0人 7,411人 4,600人 理科教育の相談・支援 28件 13件 447件 263件 理科教材・物品の貸出 31件 53件 237件 115件 (教職員研修の合計) 79人 79人 884人 462人 カウンセリングルーム来室相談 新規相談件数 70件 73件 683件 649件 学校訪問相談 9回 9回 9回 9回 138回 家庭訪問相談 訪問のべ人数 7人 10人 123人 17人 報話相談 1件 2件 28件 18件 649件 学校訪問相談 5回 5回 40回 42回 17人 10人 123人 17人 教育相談 1 1 2年 2人 2人 16人 15人 15人 15回 40回 42回 10人		埋料研修講座 *					
数音 分別	科	₩±±′/// • ₩=± тп /-					
数音 分別	学	字校寺の要請研修 					791人
数音 分別	技	地域の白砂田版 知応人					80
特別	拟数	地域の自然研修・観祭芸					
理科教育の相談・支援 理科教育・物品の貸出 (教職員研修の合計) 79人 79人 884人 462人 79人 79人 79人 683件 649件 79位	育	科学教育振興事業(科学の祭典・科学	教室等)				4,600人
(教職員研修の合計)	班	理科教育の相談・支援		28件	13件		263件
### おけい		理科教材・物品の貸出		31件	53件	237件	115件
プリプセリプラルー 公米全付談 のべ相談件数 70件 73件 683件 649件 学校訪問相談 9回 9回 9回 9回 9回 138回 家庭訪問相談 訪問対象者数 2回 3回 35回 49回 電話相談 1件 2件 18件 32件 町間談 1件 2件 18件 32件 1日 2件 18件 32件 4回回 4回回 <td< td=""><td></td><td>(教職員研修の合計)</td><td></td><td>79人</td><td>79人</td><td>884人</td><td>462人</td></td<>		(教職員研修の合計)		79人	79人	884人	462人
かへ相談件数		カウンセリングルーム李室相談	新規相談件数	15件	24件	223件	227件
家庭訪問相談 訪問対象者数 2回 3回 35回 49回 家庭訪問相談 1件 2件 18件 32件 電話相談 1件 2件 18件 32件 ソーシャルスキルトレーニング 5回 5回 40回 42回 ぶれあいルーム在籍人数 小学生 2人 16人 15人 ふれあいルーム通級日数 小学生 14人 14人 134人 177人 ふれあいルーム通級のベ人数 小学生 0人 0人 77人 ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む) 0人 0人 13人 16人 高れあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む) 0人 0人 13人 16人 高れあいルーム学位復帰人数(部分復帰を含む) 0人 0人 13人 16人 高れあいルーム等位復帰人数(部分復帰を含む) 0人 0人 13人 16人 高れあいルームの貸し出し 16本 10本 12合本			のべ相談件数	70件	73件	683件	649件
教育相談 訪問のべ人数 7人 10人 123人 17人 電話相談 1件 2件 18件 32件 リーシャルスキルトレーニング 5回 5回 40回 42回 これあいルーム在籍人数 小学生 2人 21人 27人 214人 218人 ふれあいルーム百級日数 小学生 2人 16人 15人 ふれあいルーム通級日数 15日 15日 160日 192日 ふれあいルーム通級のべ人数 小学生 0人 0人 77人 中学生 119人 87人 1,115人 ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む) 0人 0人 13人 16人 16ミリフィルムの貸し出し 16本 10本 126本 131本 16ミリフィルムの貸し出し 30本 32本 348本 369本 視聴覚機材の貸し出し 66台 54台 723台 70台 機器操作研修会 87人 89人 893人 929人 機器操作研修会 11人 9人 72人 62人 親子映写会・児童クラブ映写会 0人 0人 1,974人 3,842人		学校訪問相談					1380
電話相談 1件 2件 18件 32件 5回 5回 40回 42回 21人 27人 214人 218人 17人 5回 5回 40回 42回 21人 27人 214人 218人 中学生 14人 14人 134人 177人 5小あいルーム通級日数 15日 15日 160日 192日 5小あいルーム通級のべ人数 中学生 14人 14人 134人 177人 中学生 119人 87人 1,115人 5小あいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む) 0人 0人 13人 16人 16人 15人 16人 16ミリフィルムの貸し出し 16本 10本 126本 131本 16年 11人 16年 10本 126本 131本 17人 17人 18年 11人 18年 1		 家庭訪問相談					490
ローシャルスキルトレーニング	±/-		訪問のべ人数				17人
ローシャルスキルトレーニング	教	電話相談		-			
班ふれあいルーム在籍人数小学生2人2人16人15人応れあいルーム通級日数15日15日160日192日ふれあいルーム通級のべ人数小学生0人0人77人中学生119人87人1,115人ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)0人0人13人16人視標16ミリフィルムの貸し出し16本10本126本131本ビデオテープ・DVDの貸し出し30本32本348本369本う 視聴覚機材の貸し出し66台54台723台706台編集,借用,相談等の来室者87人89人893人929人機器操作研修会11人9人72人62人親子映写会・児童クラブ映写会0人0人20人100人教育団体、PTA、市民等の利用92人0人1,974人3,842人	相	ソーシャルスキルトレーニング					
中学生 14人 14人 134人 177人 ふれあいルーム通級日数 15日 15日 160日 192日 ふれあいルーム通級のべ人数	談		.1. 224 41-				
ふれあいルーム通級日数15日15日160日192日ふれあいルーム通級のべ人数小学生O人O人77人中学生119人87人1,115人ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)O人O人13人16人視聴覚16ミリフィルムの貸し出し16本10本126本131本ビデオテープ・DVDの貸し出し30本32本348本369本視聴覚機材の貸し出し66台54台723台706台編集,借用,相談等の来室者87人89人893人929人機器操作研修会11人9人72人62人親子映写会・児童クラブ映写会O人O人20人100人教育団体、PTA、市民等の利用92人O人1,974人3,842人	班	ふれあいルーム在籍人数					
小学生 O人 O人 77人 中学生 119人 87人 1,115人 小学生 119人 87人 1,115人 小子 119人 87人 1,115人 16人 16ミリフィルムの貸し出し 16本 10本 126本 131本 16人 ビデオテープ・DVDの貸し出し 30本 32本 348本 369本 27ブラ 視聴覚機材の貸し出し 66台 54台 723台 706台 47ブラ 機器操作研修会 87人 89人 893人 929人 20人 20人 100人 教育団体、PTA、市民等の利用 92人 O人 1,974人 3,842人		ふわちいま かる処口物	甲字 生				
P		12以1900110一公迪級日数	小兴生				1928
ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む) O人 O人 13人 16人 視聴覚します。 16ミリフィルムの貸し出し 16本 10本 126本 131本 ビデオテープ・DVDの貸し出し 30本 32本 348本 369本 視聴覚機材の貸し出し 66台 54台 723台 706台 編集,借用,相談等の来室者 87人 89人 893人 929人 機器操作研修会 11人 9人 72人 62人 親子映写会・児童クラブ映写会 0人 0人 20人 100人 教育団体、PTA、市民等の利用 92人 0人 1,974人 3,842人		ふれあいルーム通級のべ人数					
視聴覚 16ミリフィルムの貸し出し 16本 10本 126本 131本 30本 32本 348本 369本 34聴覚機材の貸し出し 30本 32本 348本 369本 706台 34時 723台 706台 36号 723台 706台 37						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	16 /
聴覚 ビデオテープ・DVDの貸し出し 30本 32本 348本 369本 視聴覚機材の貸し出し 66台 54台 723台 706台 編集,借用,相談等の来室者 87人 89人 893人 929人 機器操作研修会 11人 9人 72人 62人 親子映写会・児童クラブ映写会 0人 0人 20人 1,974人 3,842人	視						
ラ 機器操作研修会11人9人72人62人親子映写会・児童クラブ映写会0人0人20人100人教育団体、PTA、市民等の利用92人0人1,974人3,842人	聴						
ラ 機器操作研修会11人9人72人62人親子映写会・児童クラブ映写会0人0人20人100人教育団体、PTA、市民等の利用92人0人1,974人3,842人	見う						
ラ 機器操作研修会11人9人72人62人親子映写会・児童クラブ映写会0人0人20人100人教育団体、PTA、市民等の利用92人0人1,974人3,842人	ラ						
対親子映写会・児童クラブ映写会O人O人20人100人教育団体、PTA、市民等の利用92人O人1,974人3,842人						62人	
教育団体, PTA, 市民等の利用 92人 0人 1,974人 3,842人	IJ					100人	
						3,842人	
							16,896

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者 で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方 法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにも ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造 と検証の精神が必要であるという趣旨から 情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センターと青少年育成センターの情報とともに、柏崎の教育を広く発信していきます。

表紙写真撮影 種岡隆夫氏(前所長) 所報「GALILEI」 平成21年2月25日発行



柏崎市立教育センター

TEL 0257-23-4591 FAX 0257-23-4610

柏崎市青少年育成センター

TEL 0257-20-7601 FAX 0257-23-4610

T945-0833

新潟県柏崎市若葉町 2 31